

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2021年 4月 9日

事業所名 そら五月ヶ丘

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%		スペースは確保できていると思う。静養室がもう少し広かったらと思う。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	男児が多く在籍しているため男性職員を多く配置している。利用人数に合わせてヘルプの職員を配置し、調整を行っている。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎日、支援を振り返り記録し、職員間で情報共有し、実行、観察した内容を会議でPDCA作成に活用している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	ニーズに沿った支援を行っている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	全体研修等、勉強する機会をもらっている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	保護者に聞き取りを行い、現在の状況など話し合ったうえで作成しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0%	100%		標準化されたアセスメントツールは使用していない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	季節の行事などはチームで話し合い決めている。日常の活動は担当を決め、立案、周知している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	曜日ごとに活動を分け行っている。外出はコロナウィルスの影響もあり、固定せざるを得ない状況になっている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	状況に応じて設定している。長期休みには普段できない支援内容を盛り込んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	75%	25%		情報の共有は行っているが支援の方針は話せていないので今後の課題。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	振り返りは翌日に行っている。伝え漏れがないように引継ぎノートも利用している。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	利用する子どもや保護者のニーズに合わせて、活動内容や支援を工夫している。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	利用者の状況を理解している人が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	75%	25%	保護者から情報提供してもらっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		医療的ケアが必要な児童が在籍していない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0%	100%	新1年生が在籍していないので情報を共有をしていないが、以前利用していた事業所との情報共有は行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0%	100%	直接は行っていないが、相談員を通じて行っている。	現在はしていないが必要があれば情報提供を行う。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	0%		今年度は研修が行われていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%		今年度はコロナ感染症拡大防止のため開催できていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	100%	0%	隔月で行われる連絡会に管理者が出席している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や連絡帳で情報共有を行っている。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		今後、ペアレントトレーニングに対し理解を深められるよう機会を設ける。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	送迎時、モニタリング時に行っている。「話を聞いてもらってスッキリしました」と言ってもらっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	0%		今年度はコロナ感染症拡大防止のため開催できていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	お便り、HP連絡帳にて発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	0%		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	マニュアルは策定しているが、保護者に周知できていない。質問された場合には説明できている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	アレルギーのある児童については周知できている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%		